

インフォメーション

サポセン・コトハジメ塾&
サポセンガイドツアー

日 時:2019年1月19日(土)13:30~14:15
会 場:仙台市市民活動サポートセンター1階
マチノワひろば
内 容:地域のために何かはじめてみたい方やまちづくりに関わってみたい方を対象に、市民活動の基礎知識を事例とともにお伝えします。講座のあとには、サポセンの機能を紹介する、サポセンガイドツアーも開催。「何か活動を始めたい」という皆さんをサポートします。すでに市民活動や地域のまちづくりをしている方もサポセンの使い方をマスターして、活動に役立ててみませんか?
定 員:10名(先着順)
参加費:無料

マチノワストーリー
“自分ごと”から発信し広がるネットワーク

日 時:2019年1月19日(土)15:00~17:00
会 場:仙台市市民活動サポートセンター1階 マチノワひろば
内 容:ハジマルフクラムプロジェクトや市民ライター講座などの当センター事業に参加した人たちのその後の活動発表会です。仕事を持ちながら、自分のライフスタイルに無理なく市民活動を取り入れ、楽しみながら情報発信する人、自分の趣味や興味のあることを活かし、まちづくりや交流の場を作ろうと活動している人のお話をうかがいます。
ゲ ス ト:平塚千絵さん(市民ライター) 福地裕明さん(市民ライター) Teaさん(本楽カフェ)
定 員:20名(先着順)
参加費:無料
対 象:「地域のために何かしたいけれど、何からはじめていいかわからない」「自分の得意なことを地域のために活かしたい」などの思いを持つ人。



12月29(土)~1月3日(木)は休館

仙台市市民活動サポートセンターは、12月29日(土)から1月3日(木)まで年末年始のため休館日となります。つきましては年末年始期間中に関わる貸室申込手続き期限や申込受付開始日が変わりますのでご注意ください。

■年末年始の貸室申込予約の手続き期限について

通常は、貸室申込予約をした日を含め7日以内に使用申込手続きをお願いしております。
12月22日(土)までにご予約をいただいた場合は予約日を含めて7日以内に本申込のお手続きをお願いいたします。
年末年始の休館に伴い、12月23日(日)~12月28日(金)にご予約をいただいた場合は1月10日(木)までに本申込のお手続きをお願いいたします。
※12月26日(水)及び1月9日(水)は休館日のため、お手続きできませんのでご注意ください。

■年末年始の貸室申込の受付開始日について

貸室使用申込の申込受付開始日は通常、セミナーホール及びシアター全日・区分使用の場合、6ヶ月前からの受付開始、研修室及びシアター時間使用の場合、3ヶ月前からの受付開始となっております。
年始の1月4日(金)は、セミナーホール及びシアターの全日・区分6月29日(土)~7月4日(木)分の申込受付開始日、並びに、研修室及びシアター時間貸3月29日(金)~4月4日(木)分の申込受付開始日です。

市民ライターや学生記者が、
仙台の市民活動団体やワクワクビトを取材しています！
▶市民ライター
http://blog.canpan.info/fukkou/category_23/1
▶情報ボランティア@仙台
<https://ja-jp.facebook.com/jyoho.volunteer.sendai>

▶「ぱれっと」バックナンバーはホームページからダウンロードできます。
▶ぱれっとに関するご意見をお寄せください。

[ぱれっと読者アンケート] サポセンホームページからアクセス
いただくか、携帯電話等で2次元バーコードを読み取ってご利用ください。



発行 仙台市市民活動サポートセンター
発行日 2018年12月1日
編集 特定非営利活動法人せんだいみやぎNPOセンター
デザイン PEACE Inc.
編集人 太田貴 菅野祥子 松村翔子 鎌田みずほ 水原のぞみ
発行部数 3000部
配布場所 市内公共施設や行政窓口、市内一部店舗、市内外の支援施設

つながる つなげる サポセン

仙台市市民活動サポートセンターとは

様々な分野の市民活動、ボランティア活動の支援施設です。「自分たちのまちをもっと良くしたい」。そんな市民の自発的な活動を応援します。

ご相談ください

ボランティア活動をしたい／団体を立ち上げたい／組織運営の悩みを解決したい／他の団体や他のセクターと連携したい／自分のスキルを地域や社会に役立てたい…

今月の休館日 12月12日(水)、26日(水)

開館時間 月曜日~土曜日 9:00-22:00
日曜日・祝日 9:00-18:00
休館日 毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日木曜日) 年末年始

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3
TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042
地下鉄南北線「広瀬通駅」西5番出口すぐ／地下鉄東西線「青葉通一番町駅」北1番出口から徒歩6分
[HP]<http://www.sapo-sen.jp> [Blog]<http://blog.canpan.info/fukkou/> [Twitter][@sensapo](https://twitter.com/sensapo)

仙台市市民活動サポートセンターは、特定非営利活動法人せんだいみやぎNPOセンターが仙台市の指定管理者として、管理運営を行っています。[指定管理期間2015年4月1日~2020年3月31日]

ぱれっと 12

仙台市市民活動サポートセンター通信 ぱれっと 2018 No.232

“ぱれっと”には、仙台市市民活動サポートセンター(サポセン)にいろいろな人が集まり、それぞれの色(個性)が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく。そんな願いがこめられています。

今月の
ワクワク
ビト

SLC企画
全日本手話サークルこみっと仙台支部代表
ふなばし りゅうの すけ
船橋 龍之介 さん(27)

手話は、
楽しく自由に

障がいの有無関係なく誰もが一緒に、楽しく自由をモットーに手話を学んでいるグループがあります。中心で場を盛り上げるのは、全日本手話サークルこみっと仙台支部代表、船橋龍之介さんです。会員の半分は初心者。船橋さんは「手話で一番大切なことは正確な形よりも伝えようとする気持ちです」と熱く語ります。

船橋さんは生まれて間もなく音を失いました。中高と支援学校で学び、中学までは生活の中で不自由を感じることはありませんでした。本格的に手話を学び始めたのは高校生の時。難易度の上がった授業についていくために身に付けた手話が、次第に友人たちとの会話も広げました。手話でさらに人と繋がりたいと思ったのは社会人となったある日。立ち寄った珈琲店で、店員が手話で対応してくれたことでした。「驚きと嬉しさで胸がいっぱいになった」と振り返ります。「日本語を話すように手話も言語として広めていきたい」と、啓発活動を続けていきます。

取材・文 駒井 香代

特集

新たな可能性をイベントで育む

「秋フェス」×「区民まつり」

SLC企画 全日本手話サークルこみっと

HP <https://signlanguagecommit.localinfo.jp>
問い合わせ commit.jsl@gmail.com

2016年11月、秋田で誕生し、現在は東京、仙台、福岡に支部があります。手話が日常の言語ツールとして浸透するよう、健常者障がい者の垣根を越え、誰もが学べる場をつくっています。仙台支部は2018年6月に設立し、現在20代の社会人を中心に10名が在籍。主な活動拠点は仙台市市民活動サポートセンターです。詳細はホームページをご覧ください。



新たな可能性をイベントで育む 「秋フェス」×「区民まつり」

10月21日(日)太白区のあすと長町地区で、地域の活性化を目指す「長町秋のフェスティバル」(以下、秋フェス)と「太白区民まつり(以下区民まつり)」とが初めて同日開催されました。それぞれのイベントが単独開催されていた頃に比べ、より強力な情報発信力を備えるとともに、多くの関係者の結集により、従来ではなし得なかった様々な成果をあげました。イベントをきっかけとしたまちづくりの取組みを協働の視点から紹介します。

青少年の健全育成と
地域コミュニティをつくりたい

長町・あすと長町
活性化委員会
(ゼビオアリーナ仙台)

かとう たかし
加藤 隆 さん



協働によるまちづくりの推進を
力強く発信できるような機会を実現したい

太白区区民部
まちづくり推進課
主幹兼地域活動係長

わたべ かずお
渡部 一雄 さん



「秋フェス」×「区民まつり」=初の同日同エリア開催

長町・あすと長町活性化委員会主催の秋フェスは、地域の小中学生が主役のイベントです。ゼビオアリーナをはじめ近接する施設等を会場に、様々なスポーツイベントを行います。従来の地域の学校主体の行事を、2013年、ゼビオアリーナ仙台が会場を提供しながら支援したことが始まりです。スポーツを身近に感じてもらうことや、親子での参加による世代間交流の視点も盛り込み実施しています。

ゼビオアリーナで行った「仙台綱取物語」は今年で15回目。中学生の部と大人の部に分かれての綱引きです。5回目となる「仙台大なわとび選手権大会」は、小学生が家族や先生の声援の中、長縄のハの字跳びで3分間に何回跳べるか競いました。

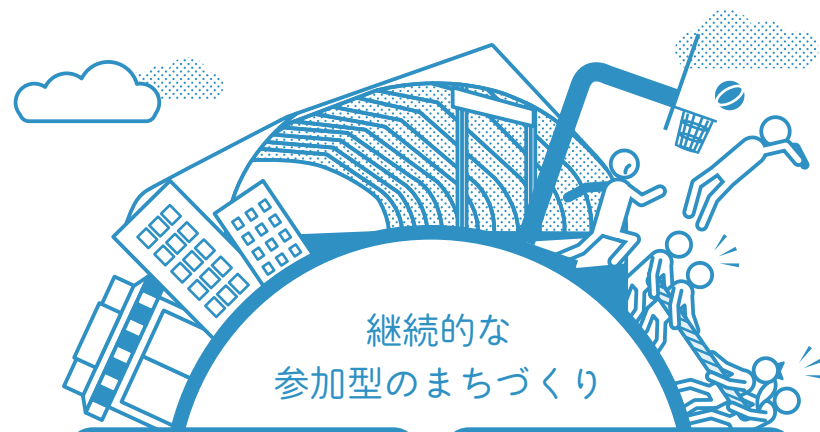
子どもたちを驚かせたのは、開会行事での、プロのチアリーダーによる準備運動指導や映像を取り入れた専門的な演出。加藤隆さんは、「子どもたちに“本物”を体験してもらいたかった」と狙いを話します。午後には同会場で、太白区おやじの会との連携企画「みんなdeスポーツフェス」、別会場では市民団体による未就学児童を対象とした「おやこフェス」、各スポーツ団体による「スポチャレ」、学生有志による子ども向け体験コーナー「Nスコレ」も企画しました。

一方、太白区まちづくり推進協議会と太白区が共催で開催した区民まつりは、区民の総合的な交流の場として毎年10月に開催してい

ます。30回の節目を迎えた今年は、ゼビオアリーナに隣接する「杜の広場公園」で開催。特設ステージでは、地域団体が音楽やダンス等日ごろの練習の成果を披露したほか、スペシャルゲストとして太白区出身の津軽三味線奏者、浅野祥さんの演奏や伊達武将隊の演奏・演武が行われました。恒例のテント村では、商店会や市民団体等が地場産品や手作り品を販売したり、参加型ワークショップをしたり例年に増して賑わいました。さらに、パトカーやはしご車などの展示と、乗車体験が出来る企画や、ミニ機関車の乗車体験コーナーには、大勢の親子連れが詰めかけました。

「秋フェス」×「区民まつり」=連携実現を目指して

今年の区民まつりは、30回目の開催を記念する特別企画とすべく、事業規模を拡大することになっていました。しかし、従来の会場であった区役所周辺では十分なスペースの確保が難しく、その実施のあり方が課題になっていました。一方の秋フェスは、イベントの知名度や集客力アップのほか、全市的なイベントへの発展が課題でした。このような流れの中、「杜の広場公園」とその周辺のスポーツ系施設の有機的な活用とともに、それぞれの関係団体等が持つ資源の活用とノウハウ等の共有により、それぞれのイベントが抱える課題の打開策を模索。様々な検討を繰り返す中で、関係者間の連携・協働の輪と



- ゼビオアリーナ仙台 〒982-0007 仙台市太白区あすと長町 1-4-10
TEL 022-748-0877 FAX 022-748-0883
- 仙台市太白区区政部まちづくり推進課地域活動係 〒982-8601 仙台市太白区長町南三丁目 1-15
TEL 022-247-1111 FAX 022-249-1131

開催可能な環境が整い、同日同エリアでの開催が実現しました。

渡部一雄さんは「双方のイベントが抱える課題解決の糸口が見えてきたとともに、地域の多様な事業主体間の新たな連携・協働が誘発された。太白区の、一層の賑わい創出と情報発信力強化の実現に至った」と振り返ります。まちづくり推進団体、商店街、企業、行政機関など、セクターを超えた地域ぐるみの取組みとなりました。

「秋フェス」×「区民まつり」=協働が描くこれからの予想図

今後の展開について「両イベントの関係者の間に信頼関係を築くことができた。来年度以降のイベントのあり方について今後検討を進めていくことになるが、今回の協働により改めてイベントに潜在的な伸びしろがあることに気付かされた」と渡部さん。加藤さんも「運営ボランティアで参加した140人の中学生から大学生は、これからの地域づくりの主体です。今後想定される青少年の健全育成と未来の地域の担い手としての成長を考える取組みとして、地域活性化のインパクトになる」と期待を寄せています。

(取材・文 平野昭)

市民ライター 小野恵子

コミュニケーションの原点を知る

「自分のことを知ってほしい」と英語で話す日本人、「あなたのことが知りたい」と前のめりで話を聞く外国人。20代〜40代の学生や社会人約20人が参加する会場は、笑い声や歓声が響きわたり熱気に満ちています。ふりすく仙台(以下、ふりすく)は仙台を拠点に、毎週木曜日19時〜21時、参加者同士が助け合い英語力・日本語力を高めるレッスンを行う市民団体です。参加者は様々な国から仙台に来た留学生や外国語指導助手と日本人。外国人と日本人がペアになり1時間ずつ、はじめに英語、次に日本語で自由に会話をします。団体の企画運営に携わるのは、英語を学ぶ熱意がある日本人約20人の会員と、非会員の外国人で構成。レッスン後の食事会や、会員以外も参加できる月1回の季節のイベントは国際交流の場となっています。



▲メモを取ったり、ネットで翻訳しながら交流をはかります。

2009年7月、ふりすくは誕生しました。フリースクールが団体名の由来です。現在の代表は東北大学大学院1年生の中越一輝さん。大学2年生の時、留学準備のために英会話力を向上させたいと、ふりすくに初めて参加。渡航者の「現地の人ともっと関わりたい」という思いに共感できる中越さんは、「外国人と日本人が関わる場をもっと増やしていきたい」と言います。関わりたい、知りたいという思いは、「あなたのことを知って、もっと好きになりたい」というコミュニケーションの原点なのだと思います。

■連絡先
ふりすく仙台
Mail furisuku-sendai@hotmail.co.jp
HP http://furisuku2015.wixsite.com/furisukusendai
Facebook https://www.facebook.com/furisukusendai/

お役立ち本 マンガでわかる! 統合失調症 家族の対応編
マンガ・構成:中村ユキ 原案・監修:高森信子 出版:日本評論社

統合失調症は、幻聴、妄想といった症状がある精神疾患です。幻聴では、当事者が「聞こえているのに!」と訴え、家族は「気のせいだと教えてあげているのに!」などというボタンのかけ違いが起きます。これを解消するには、家族が当事者の現実を認めることだといいます。本書は統合失調症の人の回復力を高める家族の接し方を紹介していますが、家族や周りの人が落ち込んでいる時、接し方のヒントにもなる一冊です。



コトナジメ 「おりざの食卓」ボランティア大募集!

おりざの食卓は、孤食になりがちな子どもや高齢者の方が、昔の大家族のように皆で食卓を囲めるお手伝いをしています。調理やお買い物、事務局でのチラシ作成やデータ入力などのボランティアを募集しています。

問い合わせ NPO法人 おりざの家「おりざの食卓」
仙台市太白区長町1丁目12-14
TEL 022-249-1625 HP http://oriza1.jimdo.com/
Mail orizanoie@yahoo.co.jp



ここチェック! 迷ったら今すぐ参加!
スポーツで言葉や文化の違いを超えよう

「外国人と友達になりたい。でもどうやって?」。スポーツという世界共通言語で交流してみませんか? HELLO WORLD は、2010年から仙台で始まった国際交流サークルです。同じ趣味を持った人同士、すぐに仲良くなれます。スポーツ以外の交流イベントも開催。

国際交流 仙台

検索

